

大気中浮遊粒子状物質(PM2.5)の分析

現在日本国内では、大気中浮遊粒子状物質の測定対象として、SPM(Suspended Particulate Matter 10 μ m以下)が定められています。最近では国内外において、健康に重大な影響を及ぼすとされるPM2.5(2.5 μ m以下)が注目されています。

PM2.5はディーゼル黒鉛等、人間の社会生活によって排出され、肺疾患等の原因物質であると考えられています。

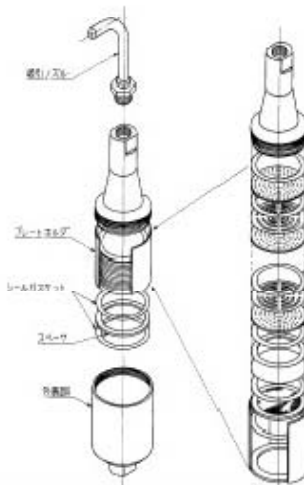


SEM撮影

1. PM2.5に関する測定方法



PM2.5ローボリュームサンプラー
(米国連邦規格:FRM)



アンダーセンスタックサンプラー
(JIS K 0302)

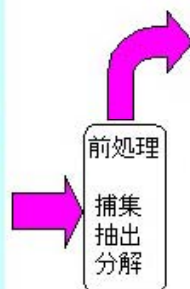


アンニューラーデニューダー
(米国環境保護庁)

2. 当事業所では上記以外のサンプリングや成分分析も行っています。



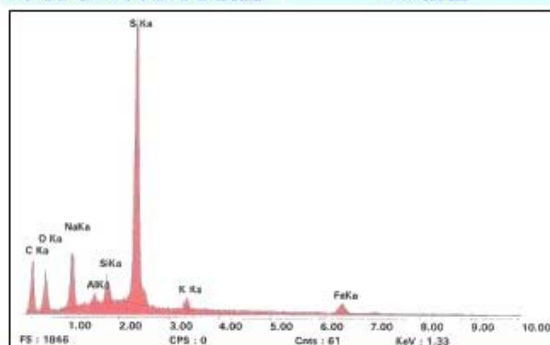
当事業所独自の
大気アンダーセン測定装置



イオンクロマトグラフ装置



EDX装置



EDXによる金属分析例